



# 教会がおぢばの出張り場所として

## 11月大教会教会長会議

立教180年11月22日

大教会長 片山幹太

# 本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268  
**天理教本島大教会**  
 電話 0877-27-3321 (代)  
 本島通信編集室 R171124-1128-15  
 奈良県天理市指柳町270-1  
 本島詰所 〒632-0093  
 電話 0743-63-1571 (呼)  
 Email: news@honjima.com  
 発行部数: 933部 (先月比±0)  
**大教会 朝夕おつとめ時間**  
**【11月1日～12月31日】**  
 朝づとめ 午前6時45分  
 夕づとめ 午後6時00分

現在開催されている後継者講習会で、全25次のうち11次が終了しました。毎次、講習会の最終日には本島詰所において会食の時間を持たせて頂き、受講生といろいろお話をさせて頂いております。

その中で、ある受講生が「おぢばりあ」という言葉を言いました。若い人は新しい言葉を作るのが上手だと思います。「おぢばりあ」とは、おぢばとバリアを繋げた造語だそうです。

おぢばに在る間は、やさしい心になり、心をきれいにして頂いている気がする。しかし、一旦おぢばを離れて家に向かうと、徐々に心が汚れていくのを感じる。それが自覚できるほど、おぢばは心を洗って頂ける場所だと、そう感じた感想を言う受講生がいました。

先月の真柱様の神殿講話で、二代真柱様がおやさとかたの構想について

お話されたことを引用されています。「神のやさとかたであるところの元のぢば、その元のぢばを取り囲む子供の住居たるおやさとかたをめぐらし、こゝに親も子も共に、神も人も共に一つ心になって、陽気ぐらしの実を、否、世界の平和の雛型を進めて行き度いと存じたのが、おやさとかたふしの決心であったので御座います」

（真柱訓話集第十五巻）

とあります。

「親も子も共に、神も人も共に一つ心になって、陽気ぐらしの実を、否、世界の平和の雛型を進めて行き度い。そのための、おぢばを囲むおやさとかたであります。

後継者講習会の受講生は、まさに二代真柱様のお言葉通り、おぢばでの2泊3日間を通して心を洗い、陽気ぐらしの心向きが変わっていきます。でも、おぢばから離れるに従って、世間の荒

KOKEISHA KOSHUKAI

心の向きを変えれば、人生はもっと、わくわくする。

みんなで行こう、後継者講習会！

開催期間 平成29年3月～平成30年3月

## 後継者講習会 受講者受付中！

日程(本島大教会割当次数)

立教180年(平成29年)

第13次 12月1日(金)～3日(日)  
 第15次 12月15日(金)～17日(日)

立教181年(平成30年)

第16次 1月16日(火)～18日(木)  
 第17次 1月19日(金)～21日(日)  
 第18次 1月30日(火)～2月1日(木)  
 第19次 2月2日(金)～4日(日)  
 第20次 2月10日(土)～12日(祝)  
 第21次 2月16日(金)～18日(日)  
 第23次 3月14日(水)～16日(金)  
 第24次 3月17日(土)～19日(月)  
 第25次 3月22日(木)～24日(土)

波に飲み込まれてしまうことがあるかもしれません。

教会はおぢばの出張り場所でありますから、おぢばのバリアに護られていような教会を目指しましょう。

例えば、三原典(みかぐらうた、おふでさき、おさしづ)を常に拝読し、教典、教祖伝を学ぶことによって、教祖にお教え頂いた通りの信仰を目指していくことができます。求道心を忘れずに、教えを吸収していく姿勢に、おぢばの理を頂いて、心の掃除ができる教会になるのではないのでしょうか。

後継者講習会の受講生のご守護を頂くことはもちろんのこと、帰ってきた受講生に心の曇りや悩みが現れたときに、教会で心の洗濯ができるように、温かく優しい言葉をかけてお導き頂きたいと思えます。

ありがとうございました。

(文責: 本島通信編集室)

# 二代真柱様の思い出

大教会役員

かたやま はじめ  
片山 肇

只今は大教会長様を芯に11月の月次祭を陽気に勇んでつとめさせて頂きました。誠にありがとうございます。御命を頂きましたので、しばらくお付き合いますようお願いいたします。

中山正善二代真柱様50年祭が、御命日の11月14日に教会本部で執り行われ



ました。

そこで今日は二代真柱様をお偲び申し上げ、私の心に残る思い出をお話しさせて頂きたいと存じます。

私は天理小学校からおちばで育て頂きました。おちばの学校では、入学式、卒業式には必ず真柱様ご出席下さり、お言葉を下さいました。

天理中学校の時に「信条教育」という言葉を初めて聞き、おちばの学校は教理をしっかり学び、身に行いながら、陽気ぐらしへ向かって歩む教育なのだと教えて頂きました。

おちばの学校では、まず教祖誕生奉祝歌を学び、続いて天理教体育大会の入場行進の練習をしました。そして4月18日の教祖誕生祭では、かぐらづつめが終わると帰参者の皆様とともに本部中庭で「教祖誕生祝歌」を斉唱しまし

た。

4月19日は天理教体育大会の開会式が天理大学グラウンドで催され、教区団とともに入場行進しました。そして真柱様から、かしのかりもの、の理に喜びを感じて励むようにとお言葉を頂きました。

昭和29年、おやさとやかたふしんが教祖70年祭をめざして起工され、本島ではひのきしん隊が結成され、鼓笛隊を先頭に旧詰所から御本部まで大行進しました。当時、詰所で寄宿していた学生も鼓笛隊に入れて頂きました。朝、学校のカバンを親に預け、行進し、御本部でカバンを受け取り、学校へ通学した思い出が残っています。その中には、昇会長様もファイフを吹いておられました。

おやさとやかたふしんでは、全国から大勢の教友が、堀り方の土持ちをさせて頂きました。子供達にもひのきしんの喜びを味合わせてやりたいとの親心から、7月「おちばがえりこどもひのきしん」が実施され、それが後の「こどもおちばがり」に発展していきました。

私は天理高校吹奏楽部に入学してからは、教内外の多くの行事に出演させて頂きました。

まず教祖誕生祭慶祝旬間では、4月18日の教祖誕生祭、19日天理教体育大会、天理教婦人会総会と青年会総会、そして23日は二代真柱様御誕生日のお祝いが第二食堂で開かれ、最後にご馳走を頂きました。

夏になると「こどもおちばがえり」、海外から来訪されるスポーツ選手の御招宴、二代真柱様の母校である大阪高等学校の同窓会などで演奏しました。全国高校野球大会、夏の甲子園では、記念大会のとき、前夜祭ではグラウンドでドリル演奏を行いました。さらに開会式では入場行進にも参加させて頂いた上に、試合が開会式直後の第1試合ということで、大きな楽器を担いでアルプス席へ走って移動したこともよく思い出です。

また、天理高校吹奏楽部の演奏旅行で必ず持ち歩いたのが掃除道具でした。旅行中の列車の車内、演奏会場、甲子園のスタンドなど、行く先々でひのきしんをさせて頂くことを、この時代にお仕込み頂きました。

私の弟である博治(ひろし)が天理プールで開催された全国中学校水泳大会で優勝したとき、役員をしておられた真柱様からメダルをかけて頂き、大変喜んで下さった上に、後日私の父にも(おちば)の

言葉を下さり、端々<sup>はばし</sup>の者まで心を配られるお姿に大変感激いたしました。

私は二代真柱様が本島大教会へお入り込み下さったのを2回覚えてます。まずは昭和37年5月18日の移転建築落成奉告祭です。

このときは天理高校吹奏楽部OBである楽朋会の方々にも本島に来て頂き、高校在学中の私も入れて頂いて、本島港での真柱様ご到着とお見送り、奉告祭後の直会で演奏させて頂きました。

奉告祭前夜、真柱様お入り込みの最中に、停電してしまいました。以前から島の電気事情を心配され、真柱様から発電機の備え付けを言われていたのですが、神殿ふしんに精一杯で発電機設備まで出来ませんでした。そうした中での停電でしたから、お叱りを受けるのかと思っておりましたら、真柱様はただニコッと笑っている様子でした。

2回目は、昭和42年5月21日の「立教130年天理教よのもと会本島会総会」です。

前日、高知大教会から水上飛行機でお入り込みになり、総会では本島の道の歩みを大々的なアトラクションでご覧下さり、神殿前からヘリコプターでおちばにお帰りになりました。

その直後、昭和42年11月14日、突然のお出直しの報に接し、本当にびっくりし、お声をかけて頂いたときのことから走馬灯のように思い浮かびました。私の父はこの時、心筋梗塞を発症しておりましたが、その父を連れて旧敷島詰所の角で真柱様の葬送車輛をお見送りさせて頂きました。

真柱様はことあるごとに「親神様は人間の陽気ぐらしをするのを見て共に楽しみたいとの思召から、人間をお創め下さいました。私達はそのことを知り、その方法も知っているのですが、さらに教理をしつかり深め、教育やスポーツでも、それぞれの徳育を發揮して成人するように」とお仕込み下さいました。

現在おちばでは陽気ぐらしの実践を心がけ、教えに基づく生き方を身につける「後継者講習会」が開催されています。

実行委員長をおつとめ下さっております大亮様は、「この講習会を通して、まず自分の心に矢印を向けてもらい、自分は今、陽気ぐらしができていくのか。日々を通る中で、人に喜んでもらえるような言葉や行いができているのかどうか、ということを考えてもらいたいのであります。人間というの

は、人を喜ばす方へ、助ける方へ、心の向きを変えていけば、必ず人生が変わっていきます。今までより必ず喜んで通ることができると思っています。実行委員会の者一同、陽気ぐらし世界実現のために、お道の明るい将来のため、この後継者講習会を必死になつてつとめさせて頂きたいと思っております」とお話くださいました。

後継者講習会の受講については、引き続き受け付けておりますので、声かけと丹精をお願いしたいと思います。ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

### 「フォトコンテスト R180」入選作品

フォトコンテスト R180 (本島通信主催)に 68 点の応募作品が寄せられ、11月25日「秋のほんじま・よかナイト!」にて以下の作品が入選しました。



### 計報

本草分教会3代会長夫人

### 倉嶋さかゑ姉

倉嶋さかゑ姉(本草分教会3代会長夫人)は去る11月2日午後6時42分、齢100歳のご長命にてお出直しになりました。

葬儀は牧野道昭本京分教会長齋主のもと、みたまうつしは11月4日午後6時より、告別式は翌5日午前11時より、本草分教会において執り行われました。

#### 倉嶋さかゑ姉略歴

大正6年2月5日生まれ。昭和16年1月24日、おさづけの理拝戴。同年3月、天理教特別科修了。昭和26年4月26日、夫倉嶋市次郎氏が本草分教会3代会長拝命。昭和29年10月19日、教会長資格検定合格。同年11月30日、教人登録。



### 本九肥分教会4代会長就任奉告祭



本九肥分教会(上潟口節子)  
会長、長崎市)では、10月26

日のお運びで上潟口節子氏の教会長任命の理のお許しを戴いておりましたが、去る10月29日午前11時より、大教会長夫妻(随行・片山勲役員)を迎え、4代会長就任奉告祭を執り行いました。参拝者約30名。台風第22号の接近にともない奉告祭当日の明け方まで雨模様でしたが、祭典が始まるころから雨が上がり、時折り晴れ間も見える天気にも恵まれました。

挨拶に立った大教会長は、まず飯田務前会長が3年前にお出直し以来、ようやく後任教会長の理のお許しを頂いたことについて、関係各位にお祝いとお礼を申し述べた上で、

「教会はおぢばの方向を向いて建てられています。かくらぶとめでは、10人のつとめ人衆がかんろだいを囲み、それぞれお面をかぶって勤められますが、お面は一つとして同じものはありません。教会に寄り来る皆様も、同じ人ではなく、役割も徳分も違います。それぞれがお互いに心を配り、学び合い、たすけ合って、一手一つに教会の御用に上にお働き頂きたい」と述べられました。

続いておつとめが陽気に勇んで勤められました。当日は大教会長様49歳の誕生日に当たり、直会ではケーキが振る舞われました。

上潟口節子氏略歴 昭和23年1月6日生まれ。昭和43年4月22日、おさづけの理拝戴。昭和44年11月28日、修養科第29期修了。昭和45年2月16日、教会長資格検定合格。同年5月15日、教人登録。立教180年10月26日、本九肥分教会4代会長拝命。

### 本倉岡分教会2代会長就任奉告祭



本倉岡分教会(谷口十糸)  
子会長、岡山県倉敷市)で

は、10月26日のお運びで谷口十糸子氏の教会長任命の理のお許しを戴いておりましたが、去る11月3日午前10時より、大教会長を迎え、2代会長就任奉告祭を執り行いました。参拝者34名。



写真(下)  
本倉岡分教会



写真(上)  
本九肥分教会

挨拶に立った大教会長は、まず新会長が任命のお許しを戴いた10月26日は、本年秋季大祭、真柱継承者である中山大亮様と布恵様の御成婚慶びの集いが行われ、三重の喜びが重なるありがたい日であったことを回想され、かくらぶとめの理合いと、親神様のお働きが頂ける教会のあり方について述べられました。

さらに、ようぼく三信条「神一条の精神」「ひのきしんの態度」「二手一つの和」について述べられ、「二手一つの和を英訳すると、ユニティー・オブ・マインドと言います。日本語に再翻訳すると『心一つ』という意味になります。一手一つと、心一つでは、『手』が入るか入らないかで微妙に違うような気がします」とし、「私の悟りですが、一手一つは野球のとき円陣を組むのに似ているような気がします。ただ皆が隣に立っているのではなく、両手で両隣の背中を

抱えて円を作る。または丸い火鉢を囲むような姿にも似ています。上座も下座もなく談じ合う。一手一つには、そのような姿が込められているように思います」と悟りを述べた上で、「ようぼく三信条を心において、成人させて頂く場が教会ですので、新会長を芯に陽気ぐらしを目指して力を合わせて勤めて行きましょう」とこれからの奮起を促されました。

続いて、明るく勇んだおつとめが執り行われました。

直会は参拝者それぞれが地元食材を持ち寄り、屋外でバーベキューを楽しみました。

#### 谷口十糸子氏略歴

昭和24年12月26日生まれ。昭和45年9月24日、おさづけの理拝戴。昭和46年3月27日、修養科第35期修了。昭和48年2月16日、教会長資格検定合格。同年3月12日、教人登録。立教180年10月26日、本倉岡分教会2代会長拝命。

〈備考〉谷口十糸子氏は本倉岡分教会の名称になってからは2代会長ですが、前身の本紫明分教会から数えると4代会長となります。

## 本廣分教会創立100周年記念祭

本廣分教会(白垣政義会長、香川県丸亀市)は、大正7年2月1日に設立して今年が数えて100年目を迎えるに当たり、11月12日に大教会長様ご夫妻(随行・片山勲役員)を迎え、11月月次祭に併せて創立100周年記念祭を執り行いました。当日は晴天のもと、参拝者約40名が集いました。

挨拶に立った大教会長は、教祖100年祭の論達第三号より「百という字の意は、白紙に戻り一より始めるを謂う」を引用された上で、「教会の歴史は100年を第1章とする



と、今日から本廣分教会の第2章が新たに始まることとなります。真つ白なキャンバスにこれから新たな歴史を刻んでいく旬を迎えていると思います」と述べ、「教会の出発点には、親神様の不思議なご守護、ご恩を感じた感激があると思います。日々、親神様のご守護を身を感じ、さらに『世界一れつをたすけるために天降った』と仰せられるように、まずは先人がおたすけ頂きましたが、その親心を忘れずに、さらに周囲へおたすけに努め、ご恩に報いていくことを確認するのが、100年を迎える意義だと思えます。」と述べられました。続いて本年の春季大祭における真柱様の神殿講話から、教会のあるべき姿についてお話されました。

続いて、おつとめが心明るく一手一つに勇んで執り行われました。

## 各地の動き

### 青年会本島分会総会

青年会本島分会(片山秀明委員長)では11月23日、大教会において総会を開催。25名が参加しました。

天理教青年会は来年に迎える創立100周年を目指して、「心を動かせ、世界を拓け」をスローガンに掲げ、活動を推進しています。

式典で挨拶に立った大教会長は「これまでの活動を振り返り、創立100周年に向かって、日々の陽気ぐらしを実践していきましょう」と述べられました。



## 赤峰別席団参

赤峰分教会(向所隆文会長、宮崎県都城市)では、本年2

回目となる別席団参を11月25、26日に実施し、約360名が帰参しました。26日本部月次祭終了後、西礼拝場にてお礼づとめが勤められました。

この団参で、初席14名、中席50名が別席を運んだほか、6名がおさづけの理を拝戴されました。

## 秋のほんじま・よかナイト!

親里の秋の夜長をお笑いで過ごそうと、有志によるお笑い企画「秋のほんじま・よかナイト!」が11月25日午後7時より、本島詰所4階講堂で開催され、帰参者約180名が集まりました。

「ウルトラクイズ」「フォトコンテストR18」「大喜利」の三本立てで、約90分間大いに笑いました。

## 大教会長動向

### ▼12月(予定)▲

- 2日、後継者講習会
  - 3日、第13次あいさつ
  - 5日、本千治分教会参拝
  - 6日、栄森峰分教会参拝
  - 7日、大駿峰分教会参拝
  - 10日、肥後八峰分教会
  - 11日、實峰分教会参拝
  - 16日、本草分教会
  - 17日、後継者講習会
  - 22日、大教会月次祭執行
  - 23日、越乃國大教会参拝
  - 24日、修養科門出まなび
  - 26日、本部月次祭参拝
  - 30日、本部神殿奉仕当番
- 以上

**本島野球部は出場辞退** 本島野球部(岡崎八十則部長)は第44回「全教野球大会」に香川教区代表として出場権を得ていましたが、台風22号接近にともない大会日程が2日間延期されたことから選手都合がつかず、本年は出場辞退しました。来年は創部100周年、活躍が期待されます。

### 事情はいび

(立教180年11月26日)

本卓分教会

任命願

新任教会長 倉嶋孝明

臨時祭典願

就任奉祭 立教180年12月16日

以上

### おさげの理拝戴

(立教180年10月分)

▼雅峰△落合桂

【計1名】

### 修養科第91期修了

(立教180年11月27日修了)

▼大雄峰△岡部拓磨

【計1名】

### おさげお取り次ぎ報告

(立教180年11月22日)

提出教会 28教会

報告数 917回

累計 15,249回

※前年同月累計差 4348回減

### 教人資格講習会修了

(立教180年11月10日修了)

阿波本徳 三木美沙子

【計1名】

### をびや許し

(立教180年10月分)

▼赤峰△向所未奈 ▼吉松峰

△鈴木瑠美 ▼台檀△メリー

サ・ソー 【計3名】

### 証拠守り下附

(立教180年9月分)

阿波本徳1、ポートランド2

【計3名】

### ろくぢ会

(立教180年11月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・

香葉子・幹太郎・好次・昇太△長

尾真実・幸太△片山秀明△藤山さ

ちよ ▼樺太分教会 ▼本樺分教

会 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠

△杉山真唯 ▼本攝△片山元一・

直道・菜々 ▼崇徳分教会 ▼ポ

トランド教会△片山和信・陽子・

昇慶・竜次 ▼シータック教会

ご芳志に厚くお礼申し上げます

### 後継者講習会受講者名簿

■第9次(11月3日~5日)

▼本島△藤山さちよ ▼本樺

△阿部香苗△阿部祥大 ▼渋

谷△永島理実△永島理菜△永

島大生 ▼本米臺△内橋和博

△大槻雄一 ▼本千代△菅野

貴絵 ▼攝良△神前和博 ▼

本高△菅岡あや ▼本勇△井

上周道 ▼本陽泉△小倉隆司

△小倉清海△小倉麻衣

【計15名】

■第10次(11月10日~12日)

▼本島△出田瑞穂 ▼本高△

菅岡繁理△菅岡勇祐△菅岡信

祐△佐々木勇磨 ▼吉松峰△

石井あゆ美 【計6名】

■第10次(11月17日~19日)

▼御幸濱▽後藤郁枝 ▼本都

△五味柄利久 ▼本京△牧野

元治 ▼本静森△今野百利

▼本米臺△内橋かおり ▼阿

波本徳△老木真一 ▼文峰△

岩元祐樹 ▼銀峰△河津嘉晃

△福田圭祐 ▼新信峰△米澤

実可 ▼力カコ△酒井治枝

【計11名】



寺本管一郎翁に子ども時代の本島の食事について訊いてみた。

戦争中、教会の主食は、多くの家庭と同じように、麦と米を混ぜた飯だった。

麦は固めで粘り気が少ないので最初に蒸す。蒸した麦に米を加えて炊く。そしてなぜか教会では、炊きあがる直前にお湯を加える。飯のかさを増やすためである。当然のことながら、風味が悪く不味い粥飯になる。

米と麦は教会で作っていた。サツマイモも多く獲れた。収穫したサツマイモは、山口のおっちゃん家の前に芋壺があり、その中に麦のモミと一緒に保存した。米の初穀より麦の方が、保存には上等だという話だった。

昔は醤油と味噌も教会で自家製造だった。特に醤油は甘くて美味しいと評判だった。

今も残る名物の酸っぱいたくわん漬も、昔からあった。

寺本初枝さん(当時20才くらい)がお嫁に来たとき、たくわん漬に醤油をかけて食べたのを見つけた高島チカ婆さん(当時50才半ば)が、えらい怒りようだった。塩気のあるたくわんに、しょうゆをかけて食べるなんて不経済だというのがその理由だった。

私は個人的に、本島のたくわんに鯉節と醤油をかけてご飯と一緒に食べるのが大好きなのだが、昔の教会の炊事場を考えると現代は本当にありがたいと思う。

自家製造していた醤油と味噌は、大勢いた青年さんが戦争へ応召されるようになって作られなくなった。

燃料となる薪は、山へ取りに行った。そのため島の山々はよく手入れされていた。ガスが普及するにしたがって、山に樹木が覆い茂るようになり、今では容易に立ち入れない。昔の山道も多くが藪の中に埋もれている。

片山俊次・コズエ夫妻の長男俊彦が昭和11年に生まれ、管一郎少年は俊彦がヨチヨチ歩きするとき一緒に遊んだ。でもかわいそうなことに、昭和13年わずか2才でお出直しになった。(向所)

写真：昔から今も続く大根干し





### 新年の別席について

【教会本部】

- 受付：1月2日午前8時より、東左第1棟1階。ただし1月5日より7日(お節会期間中)は、東左第3棟1階にて受付。
- 別席食：1月2日より4日までは、第一食堂利用となります。

### お節会

【教会本部】

- 期間：1月5日、6日、7日
- 受付時間：午前10時より午後1時
- 一般受付場所：おやさとかた真東棟前広場
- 入場整理券は、詰所事務所でお渡しします

### 教会長夫妻研修会

【教会長子弟育成委員会】

- 日時：立教 181 年 1 月 25 日  
午後1時より午後4時30分
- 会場：本島詰所 4 階講堂
- 対象：教会長夫妻、後継者夫妻
- 受講御供：500 円
- 講師：岩井喜市郎先生  
(桜井部属・士別分教会長)
- 参加報告書期限：12月22日(参加・不参加に関わらず、全教会ご提出ください)

### 布教の家入寮者募集

【布教部】

- 布教の家 立教 181 年度 入寮案内の冊子が配布されました。若干数を詰所事務所に置いてありますので、ご利用ください。
- 願書配布：11月25日開始
- 願書受付：1月25日午前9時より  
2月25日午後4時

### 学生おせちひのきしん隊

【本島学生担当委員会】

- 期間：1月4日(木)～7日(日)
- 参加対象：高校生、大学生、大学院生、短大生、専門学校生で、全期間参加できる人
- 宿泊：本部施設
- 参加費：2000 円
- 申込締切：12月15日(金)
- 詳細については、池田さわみ本島学生担当委員長まで

### 青年会創立100周年記念総会

【天理教青年会】

- 日時：立教181年10月28日(日)  
例年、総会は10月27日に行われますが、100周年記念総会は違いますのでご注意ください。

### 12月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部食堂ひのきしん〉

- 期間：12月1日～15日
- 派遣教会：赤峰分教会

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：12月21日～22日
- 派遣教会：本岡①、赤峰②

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：12月24日20:00～26日13:00
- 派遣教会：本京②、本篠①

### 学修・高校卒業生コース

【学生会】

立教 181 年 学生生徒修養会 高校卒業生コース

- 期間：平成 30 年 3 月 10 日(土)～12 日(月) 2泊3日間
- 受講対象：①平成 29 年度高等学校卒業予定者(卒業後の進路は問いません。天理高校、天理教校学園高校の卒業予定者も受講可能です)。②全期間を通して受講できる者
- 定員：400 名
- 受講御供：3,000 円
- 申込方法：受講願書 1 通、返信用封筒 1 枚(保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82 円切手を貼付してください)を整え、大教会長を経て、学生担当委員会事務局へ申し込んで下さい。
- 受講願書はウェブサイトでもダウンロードできます。  
<http://tsa.tenrikyo.or.jp/>
- 申込期間：平成 29 年 11 月 25 日～平成 30 年 1 月 31 日(定員になり次第締切)
- 詳細については本島詰所(牧野善明)まで

### 電話番号変更のお知らせ

【総務部】

- 栄東峰分教会(川村吉夫会長)の電話番号が下記の通り変更になりました。  
電話：087-880-7843

<http://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

### 統計 (10月1日～31日)

教会名	初席	中席	妻の座	條料	教人講習	検定講習	にをいがけ名簿提出教会 (11月)		
							本島	本千代	倉峰
本室	1	1					0	1	5
御幸濱		1					17	12	36
本恵		1					5	2	34
本廣					1		20	2	40
赤峰		1					7	8	4
雅峰			1	1			4	1	16
倉峰		1					10	1	2
大雄峰	1	2					2	4	20
霊峰		2					106	8	13
大隅聖峰		1					4	2	66
鶴峰		1					12	6	80
台檀	1						1	54	25
ポートルンド	2								
合計	5	11	1	1	1	0	計 36 教会		630 名